



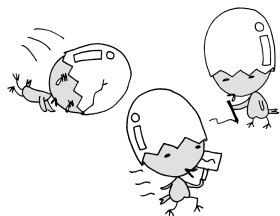
作って学ぶ
VISUAL BASIC .NET

瀬戸 遥

SETO, Haruka

<http://www.big.or.jp/~seto/>

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA006682/>



かんたんワープロMyWordを作る —その2—

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

Level



Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥TAMAHYOディレクトリに収録しています。

¥MYWORD2
今回のサンプル



メイン処理に 挑戦

前回は引き続き、リッチテキストボックスコントロールを使って、簡単なワープロソフトを作成します。

前回は、入力した文書をファイルに保存する処理を組み込みました。

今回は、

- ・リッチテキストフォーマット(.rtf)とテキストフォーマット(.txt)のファイルを開き、リッチテキストボックスで表示する処理
- ・選択した文字のフォントや色を変更する処理

を組み込み、ワープロソフトらしく仕上げてください。



ファイルを開くには？

最初に、ファイルを開く処理を

作成しましょう。

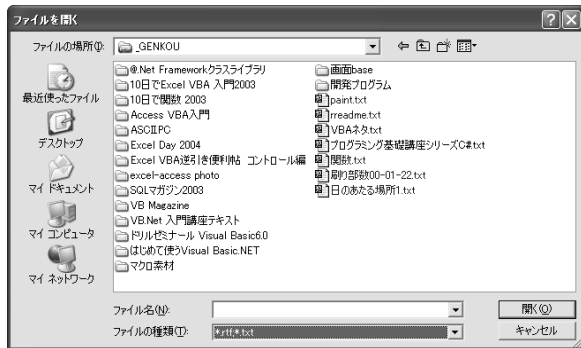
●ダイアログを使おう

ファイルを開くには、ファイル名を取得する必要があります。ファイル名を取得するには、OpenFileDialogコントロールを使用します。OpenFileDialogは、「ファイルを開く」ダイアログボックスを表示するためのコントロールで、ユーザーがファイルを選択し [OK] ボタンを押すと選択したファイル名をFileNameプロパティに格納します。

まず、ツールボックスにある「OpenFileDialog」アイコンをフォームにドラッグ&ドロップし、OpenFileDialogコントロールをフォームに配置しましょう。

続いて、プロパティウィンドウのFilterプロパティを使ってダイアログボックスに表示するファイルの種類を制限します。前回、ファイルを保存するのに、SaveFileDialogコントロールを使用しました。そして、

図1：RTFとテキストのファイルを選択できる



このダイアログボックスに表示するファイルの種類を、Filterプロパティを使って拡張子が「.rtf」のファイルだけに制限しましたね。これと同じ操作をこのOpenFileDialogコントロールに対しても行ないます。

ただし、今回は、RTFファイル以外に、純粋なテキストファイルも読み込めるようにするので、ファイルの拡張子が「.rtf」と「.txt」の、2つのファイルを表示するようにします(図1)。2つのファイルを表示するには、Filterプロパティに、「;」で区切って2種類の拡張子を設定します。

```
*.rtf;*.txt|*.rtf;*.txt
```

● 選択したファイルの取得

次に、「ファイルを開く」ダイアログボックスからユーザーにファイルを選択してもらい、そのファイルをリッチテキストボックスに表示する処理を作成します。

ファイルを開くための処理コードは、[開く]メニューのClickイベントプロシージャに記述します。フォームデザイナの[開く]メニューをダブルクリックすると、「MenuItem2_Click」というイベントプロシージャが作成されます。

```
Private Sub MenuItem2_Click(略) Handles MenuItem2.Click
End Sub
```

まず、プロシージャの先頭に、開くファイル名を格納する変数を文字列型で宣言します。

```
Dim OpenFileName As String
```

そして、OpenFileDialogコントロールのShowDialogメソッドを実行します。ユーザーがファイル名を選択し[OK]または[キャンセル]ボタンを押すと、押したボタンの種類を返してくるので、これを変数Retに格納します。

```
Dim Ret As DialogResult = Me.OpenFileDialog1.ShowDialog
```

[OK] ボタンが押された場合(すなわちユーザーがファイル名を選択したのであれば)、OpenFileDialogコントロールのFileNameプロパティからファイル名を取得し、変数に格納します。このFileNameプロパティには、ダイアログボックスで選択したファイル名が、ドライブ名を含むフルパスで格納されます。

```
If Ret = DialogResult.OK Then
    OpenFileName = Me.OpenFileDialog1.FileName
Else
    Exit Sub
End If
```

● ファイルフォーマットの判定

ファイル名を取得したら、取得したファイルの拡張子を調べます。というのは、あとでそのファイルをリッチテキストボックスコントロールで開く際に、RTFファイルとテキストファイルとでメソッドの実行を分けるためです。

ファイルの拡張子を調べるには、Right関数を使用します。Right関数は、引数に指定した文字列の末尾から指定した文字数分を取り出すことができます。この関数は、Visual Basic 6.0から引き継がれている関数で、.NET Frameworkでは「Microsoft.VisualBasic」という名前空間に属しています。

ここでは、ファイル名を格納している変数「FileName」から末尾3文字を取り出し、FileExtという変数に格納するので、次のような記述になります。